

2026年4月20日

各位

RSホールディングス株式会社

**RSホールディングス、株式会社バイウィルと脱炭素および環境価値創出領域
における協業に向けたMOUを締結**

～カーボンクレジットの創出・活用を含む新たな事業機会の創出に向けて協業推進～

RSホールディングス株式会社（代表取締役社長：若林 要、以下「RSHD」）は、環境価値の創出・流通および脱炭素コンサルティング等を手掛ける株式会社バイウィル（代表取締役社長：下村 雄一郎、以下「バイウィル」）と、脱炭素社会の実現に向けた協業の検討を目的として、業務提携基本合意書（Memorandum of Understanding、以下「MOU」）を締結いたしましたのでお知らせいたします。



本MOUに基づき、RSHDおよびバイウィルは、環境価値の創出・活用および流通、ならびに脱炭素化に資する各種ソリューションの提供に関する分野において、相互の知見および経営資源を活用し、協業の可能性について検討を進めてまいります。

RSHDは、再生可能エネルギーによるクリーンな電力供給、最先端技術を活用した系統用蓄電池事業、そしてGXを支える不動産事業を通じて、地域と未来への貢献を目指しています。アセットマネジメント力に強みを持ち、管理する再エネ発電所等の資産規模はグループ全体で5,000億円超に達しており、全社が連携して確かな運用実績を築いています。

一方、バイウィルは、Climate Asset Developerを掲げ、金融機関や自治体を中心とする190超のパートナーシップを結び、カーボンニュートラル実現を目指しています。脱炭素に関するコンサルティングに加え、カーボンクレジット等の創出支援、環境価値の仕入販売など、展開しているサービスのそれぞれで豊富な実績を有します。今後は高効率設備等の普及にも注力し、エネルギー効率化による脱炭素化を力強く推進します。

両社は、こうした強みを掛け合わせ、環境価値の創出から流通・活用に至る一連のプロセスの構築に向けて、ファンドの組成等を通じ、不動産およびエネルギー関連アセットを活用した新た

な事業機会の創出を目指してまいります。

RSHD グループは今後も、脱炭素社会の実現に資する投資および事業の創出を通じて、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

■RS ホールディングス株式会社 概要

| | |
|------|---|
| 所在地 | 東京都港区六本木 6-3-1 六本木ヒルズクロスポイント 6階 |
| 代表者 | 代表取締役社長 若林 要 |
| 設立 | 2019年6月 |
| 事業内容 | 再生可能エネルギー発電事業、系統用蓄電事業、不動産ファンド事業、海外における再生可能エネルギーへの投資事業等、関連事業を営む会社の保有を通じたグループの統括・運営 |

■株式会社バイウィル 概要

| | |
|------|---|
| 所在地 | 東京都中央区銀座7丁目3番5号 ヒューリック銀座7丁目ビル 4階 |
| 代表者 | 代表取締役社長 下村 雄一郎 |
| 設立 | 2013年11月 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none">・環境価値創出支援事業（カーボンクレジット等の創出）・環境価値売買事業（カーボンクレジット等の調達・仲介）・脱炭素コンサルティング事業・ブランドコンサルティング事業 |

<本件に関するお問い合わせ先>

RS ホールディングス株式会社 広報部

(TEL : 03-6441-2946 MAIL : pr@rs-holdings.co.jp)

以上